

「多面的・多角的に考えること」

を重点とした道徳科の授業づくり

第1学年 道徳科学習指導案

- 1 主題名 「自分との付き合い方を考えよう」（内容項目：A-3 向上心、個性の伸長）
- 2 教材名 「自分の性格が大嫌い！」（出典「新しい道徳1」東京書籍）
- 3 主題設定の理由

子どもたちの自尊感情の欠如や自己肯定感の低下が様々な調査等から指摘されている。個性を伸ばすためには、固有の持ち味をよりよい方向へ伸ばし、より輝かせることが必要である。自分自身で嫌だと思っている所も、見方を変えて磨きをかけることで、輝く個性になり得る。指導に当たっては、自分を肯定的に捉え（自己受容）させることや自分の長所を発見に努め（自己理解）させることなど、まず自分との対話を深めていくことが大切である。

生徒は、自己理解が深まり、自分の在り方や性格についての関心が高まってきた一方で、他人と比較して劣等感を抱いたり、性格に思い悩んだりする状況が見られる。

本教材は中村うさぎ氏のエッセイである。作者の「おこりっばい」短所の捉え方や、人間のもっている「短所と長所」は裏表であり、自分の「短所と長所」の両方を公平に見つめることで人生がより楽しくなるという主張から、自分との付き合い方（対話）を考える習慣を身に付けることで、自己の特性を幅広い視野から捉えさせて自尊感情を高め、向上心や個性の伸長を育むことができる教材である。そこで、自分を見つめる視点を変えることが、自分のよさを発見し、自己肯定感を高めたり、充実した生き方につながったりすることに気付かせたい。

4 本時のねらい

「自分との付き合い方」を大切にしようとする作者の考えに共感し、自分のもっているよさや個性の伸長に努め、それを肯定的に捉え、伸ばしていこうとする実践意欲を育てる。

5 本授業のポイント

- ① 自己や他者との対話を通して、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、自分の考えを深めることができる。
- ② ICTを活用することにより、生徒が他者の考え方について理解を深めたり、自分の考え方を明確にしたりすることができる。

6 本時の展開

	学習活動 ○主な発問 ・予想される生徒の発言	留意点や評価の観点 等
導入	1 テーマを確認する。 2 自分の欠点を交流する。 ○「あなたには、どんな欠点がありますか？」 ・短気であること ・長続きしないこと ・集中力がないこと ・人見知りである。	・事前に Web でアンケートを取り、モニタで確認をする。

<p>展開前段</p>	<p>3 「自分の性格が大嫌い！」を範読する。</p> <p>4 範読した内容を確認する。</p> <p>○「なるほどなあ」「すごいなあ」と思ったところはどこですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な性格は変えられない ・自分を観察したり、分析したりすると、自分に客観的な視点をもてるようになる。 ・自分の性格は「一長一短」で、よいところも悪いところもある。 <p>○「自分との付き合い方」を覚えると、人生が楽になるのはどうしてでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・短所ばかり目立ってしまうが、見方を変えると長所になるから。 ・自分のよさを発見、伸ばすことができるようになるから。 ・自分の嫌なところを責めなくなるから。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の範読を聞きながら、「なるほど」「すごい」と共感した部分に線を引かせる。 ・ワークシートに記入する。 ●自己や他者との対話を通して、物事を広い視野から考え、自分の考えを深めることができる。(ポイント①)
<p>展開後段</p>	<p>5 自分の欠点や短所にどう向き合うかを考える。</p> <p>○あなたの短所は、見方を変えるとどのように言い換えられますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己中心 物事をはっきり言うことができる。周りに流されない。 ・短気 他人をしっかりと叱ることができる。自分の感情を表現できる。 <p>○短所を長所に変えるのは簡単ですか。</p> <p>○見方を変えることで、どのように生き方が変わるでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・短所を長所と考えることにより、自信をもって過ごすことができると思う。 ・新しいことに挑戦しようと思えるようになり、生活が楽しくなると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・クラウド上の共有シートに入力する。 ●ICTを活用することにより、生徒が他者の考え方について理解を深めたり、自分の考え方を明確にしたりすることができる。(ポイント②) ・ネームプレートを黒板に張り、自分の立場を明確にして交流する。 ・ワークシートに記入する。 ●自己や他者との対話を通して、物事を広い視野から考え、自分の考えを深めることができる。(ポイント①) ■対話を通して、自分の性格や特徴に気付き、自分の生き方について多面的・多角的に考えようとしている。
<p>終末</p>	<p>6 これから目指す生き方について触れながら、学習を通して感じたことや考えたことを書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りでは、生徒の考えを尊重し、発表は行わない。